

1. 京都薬科大学

テーマ	市民組織と協働で行う地域児童を対象とした理科実験講座の取り組み ～身近な夏の不思議体験 2025 イン 山科～	
発表代表者	林 美沙: 京都薬科大学 学生実習支援センター 助教	
連名発表者	高尾 郁子: 京都薬科大学 学生実習支援センター 助教 高田 哲也: 京都薬科大学 学生実習支援センター 助教 徳山 友紀: 京都薬科大学 学生実習支援センター 助手 金瀬 薫: 京都薬科大学 学生実習支援センター 助教 岩崎 宏樹: 京都薬科大学 学生実習支援センター 助教 石川 誠司: 京都薬科大学 学生実習支援センター 講師 平山 恵津子: 京都薬科大学 学生実習支援センター 助教 木村 徹: 京都薬科大学 学生実習支援センター 准教授 山口 貴: 京都薬科大学 企画・広報課 久保 亜未: 京都薬科大学 企画・広報課 武上 茂彦: 京都薬科大学 学生実習支援センター 教授	
キーワード	地域連携活動	市民協働
	科学体験	理科実験
発表の概要	<p>京都薬科大学では 2011 年度より、地域連携活動の一環として山科区の小学生を対象に理科実験講座を開催している。本講座は身近な科学現象を題材に、実験を通して理科への興味を引き出し、その関心を継続させることを目的とする。さらに、市民組織と協働し地域とのつながりを深めながら運営している。</p> <p>2025 年度は「水」をテーマに、「手でつまんで持てる水！容器がいらない水を作ろう」、「水が消えた！？水を吸う魔法の粉」の二つの実験を行った。対象は小学 4～6 年生で午前・午後の 2 回に分けて、計 94 名が参加した。市民組織の方々にはサポートスタッフとして児童の補助や安全管理を担っていただいた。</p> <p>本発表では、サポートスタッフと児童の反応を中心に具体的な取り組みと支援内容を報告し、地域連携活動における科学教育の成果と課題について考察する。</p>	